

上今井左岸地区埋立て 地元説明会資料

令和7年5月18日
千曲川河川事務所

左岸埋立て全体計画図

- ◆ 上今井遊水地で発生する土砂を、地元要望を踏まえ、築堤を行った上でその背面を堤防高と同程度の高さに埋立てを行います。
- ◆ 埋立てにあたっては借地を行い、埋立て後にあっては現在の土地利用と同様となるよう諸施設を復旧します。

【埋立て整備後】



- ◆ 上今井遊水地で発生する土砂を、地元要望を踏まえ、築堤を行った上でその背面を堤防高と同程度の高さに埋立てを行います。
- ◆ 埋立てにあたっては借地を行い、埋立て後にあっては現在の土地利用と同様となるよう諸施設を復旧します。

【埋立て整備後】

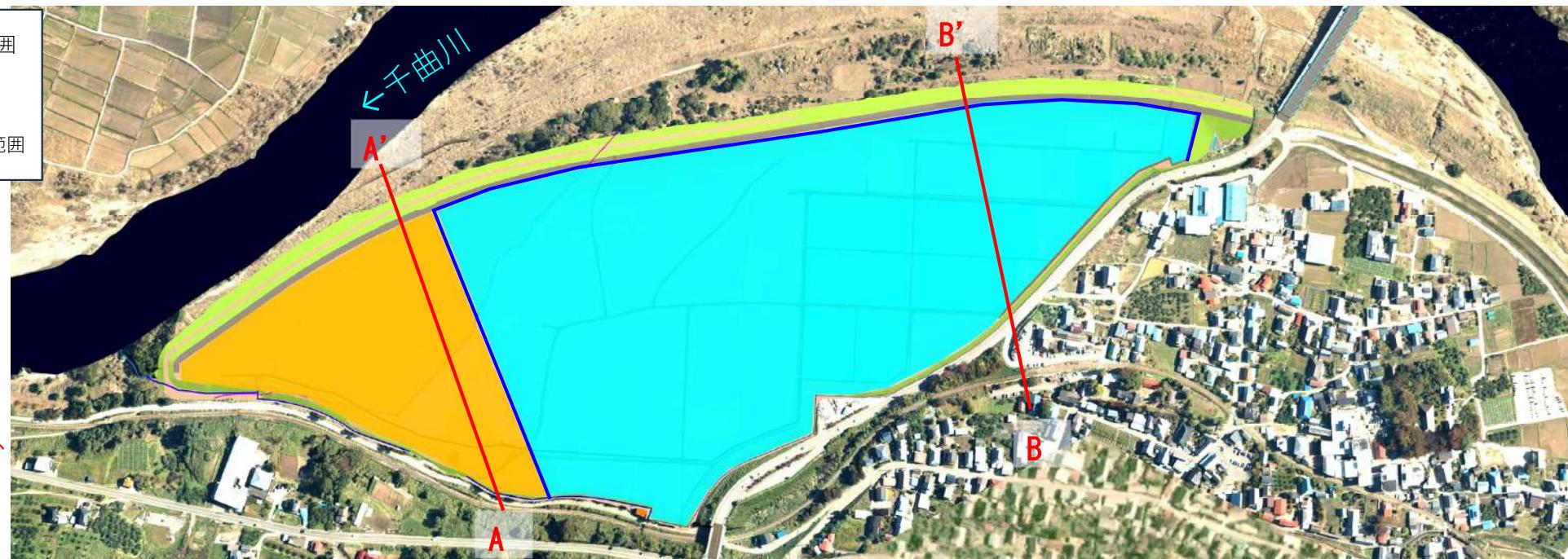


※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

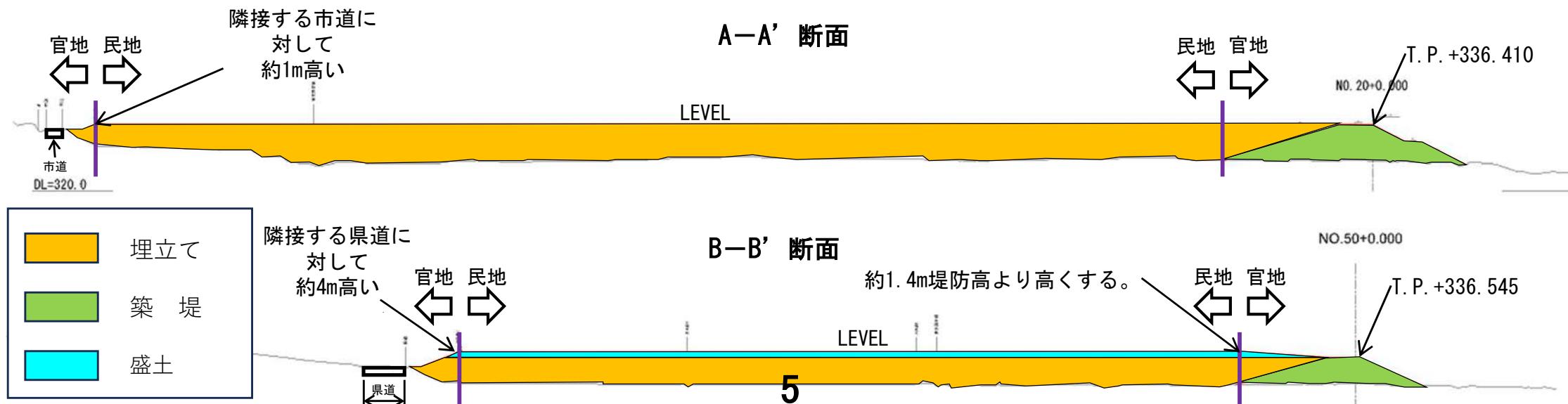
埋立計画

埋立計画

◆ 令和6年3月地元説明会では、「築堤を行った上でその背面を堤防高と同程度の高さに埋立てを行う」との計画をお示しましたが、霜だまりの抑制に配慮し、法面に民地が生じないようにしつつ、堤防高より約1.4m高く盛土を行う範囲を設けます。

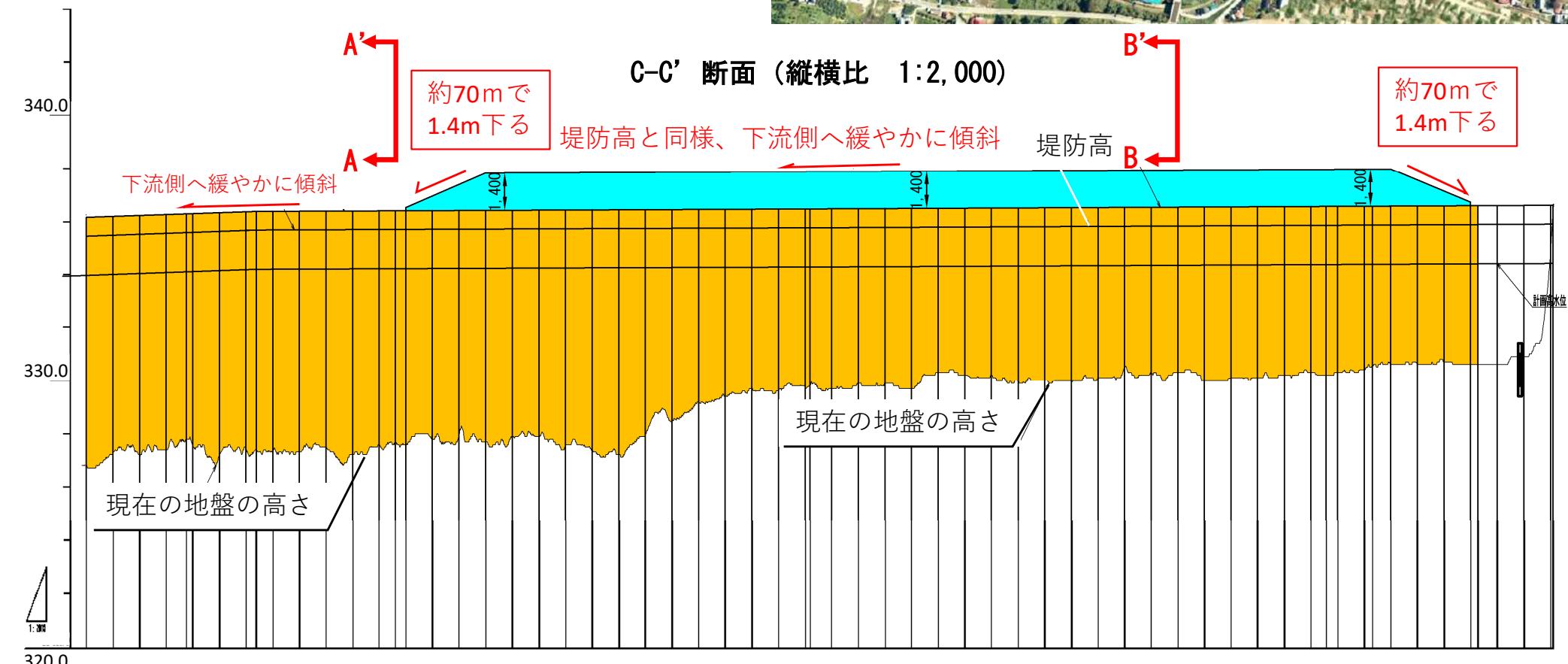
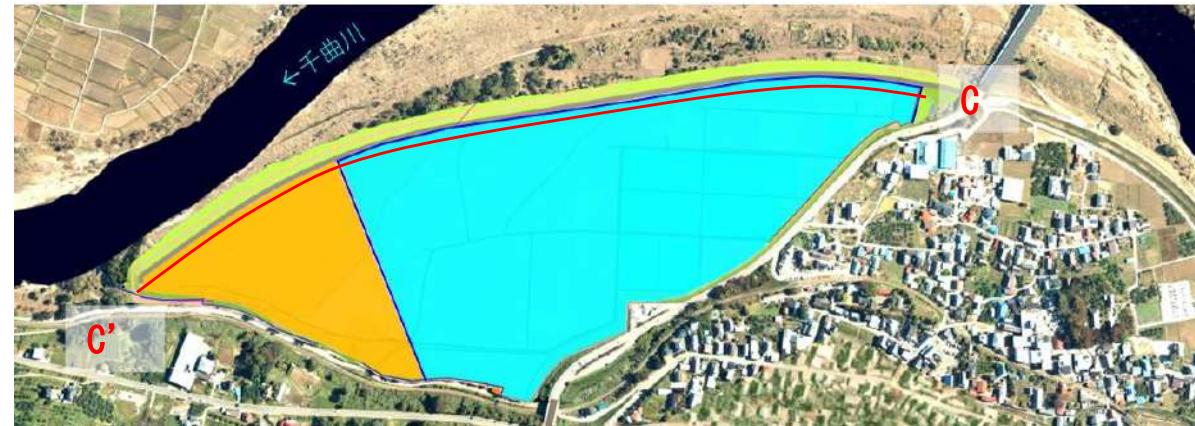


※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。



埋立計画(縦断計画)

- ◆ 河川方向は堤防高と同様に下流に向かって緩やかに傾斜させます。
- ◆ 盛土(図中水色)の範囲の前後は、70mで1.4m下る程度の傾斜とします。



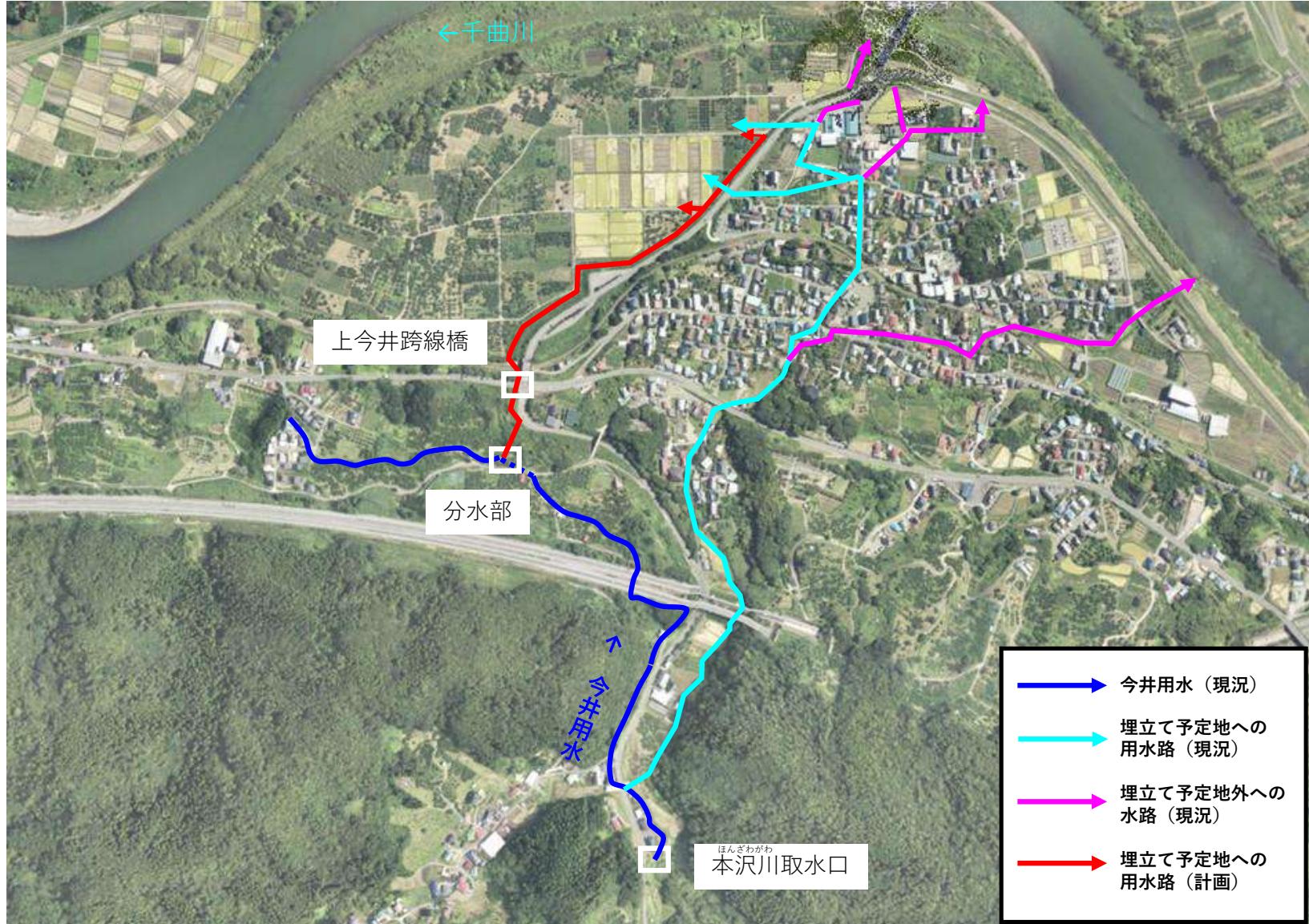
※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。
※工事の進め方は、詳細設計、地域との調整などにより、今後変更となる可能性があります。

用排水計画

用水路計画

令和6年3月地元説明会資料より（一部修正）

- ◆ 現在耕作地内の用水は上今井集落内を流下し県道下の暗渠を通じて供給されていますが、埋立てにより供給が不可能となります。このため、今井用水の道路改良前の分派点から分水し、山側から用水を供給する水路の復旧を行います。



本沢川取水口

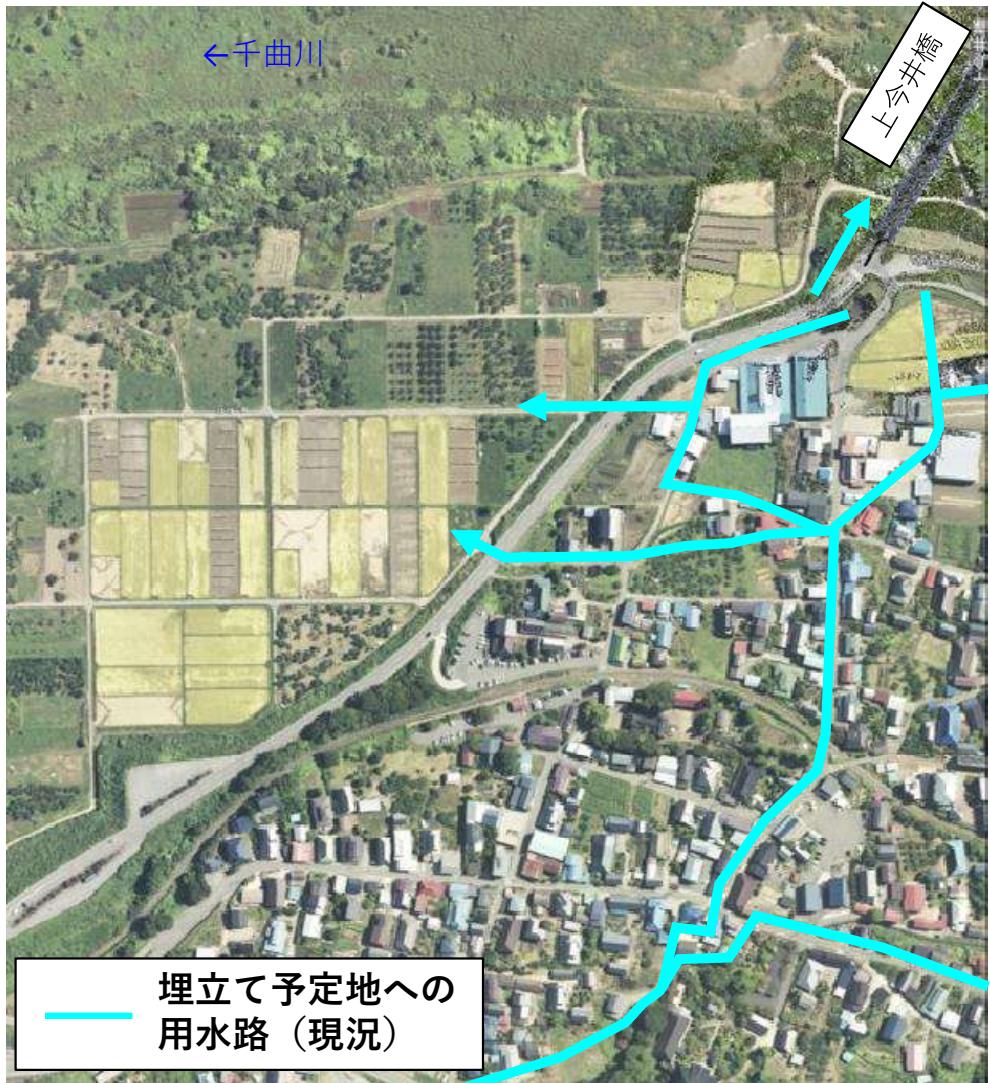


分水部

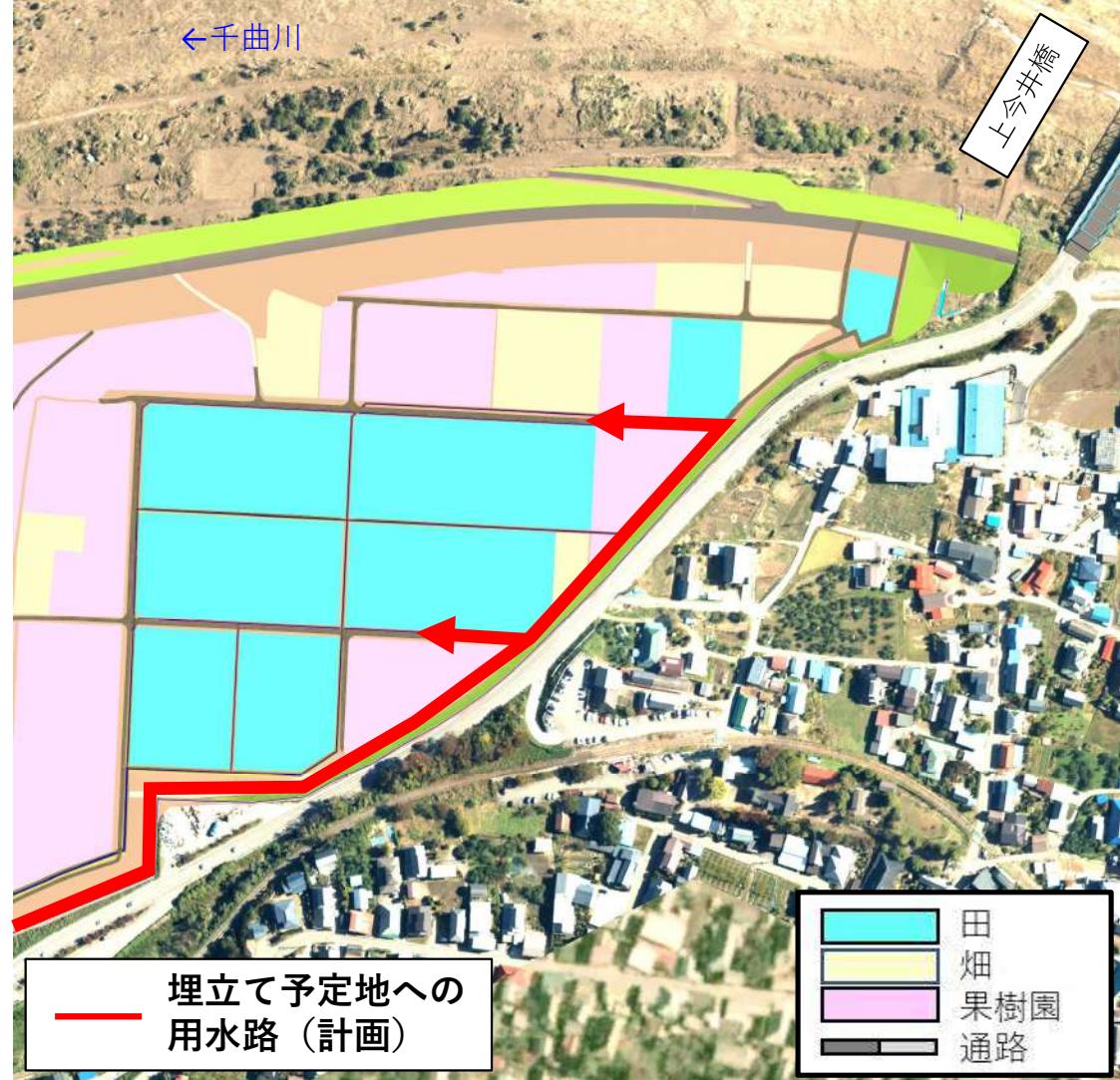
※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

- ◆ 田んぼについては、現在の通路、水路位置を変えることなく復旧を行います。
- ◆ その周辺の通路についても同様の対応を行います。

【現状】



【復旧後】

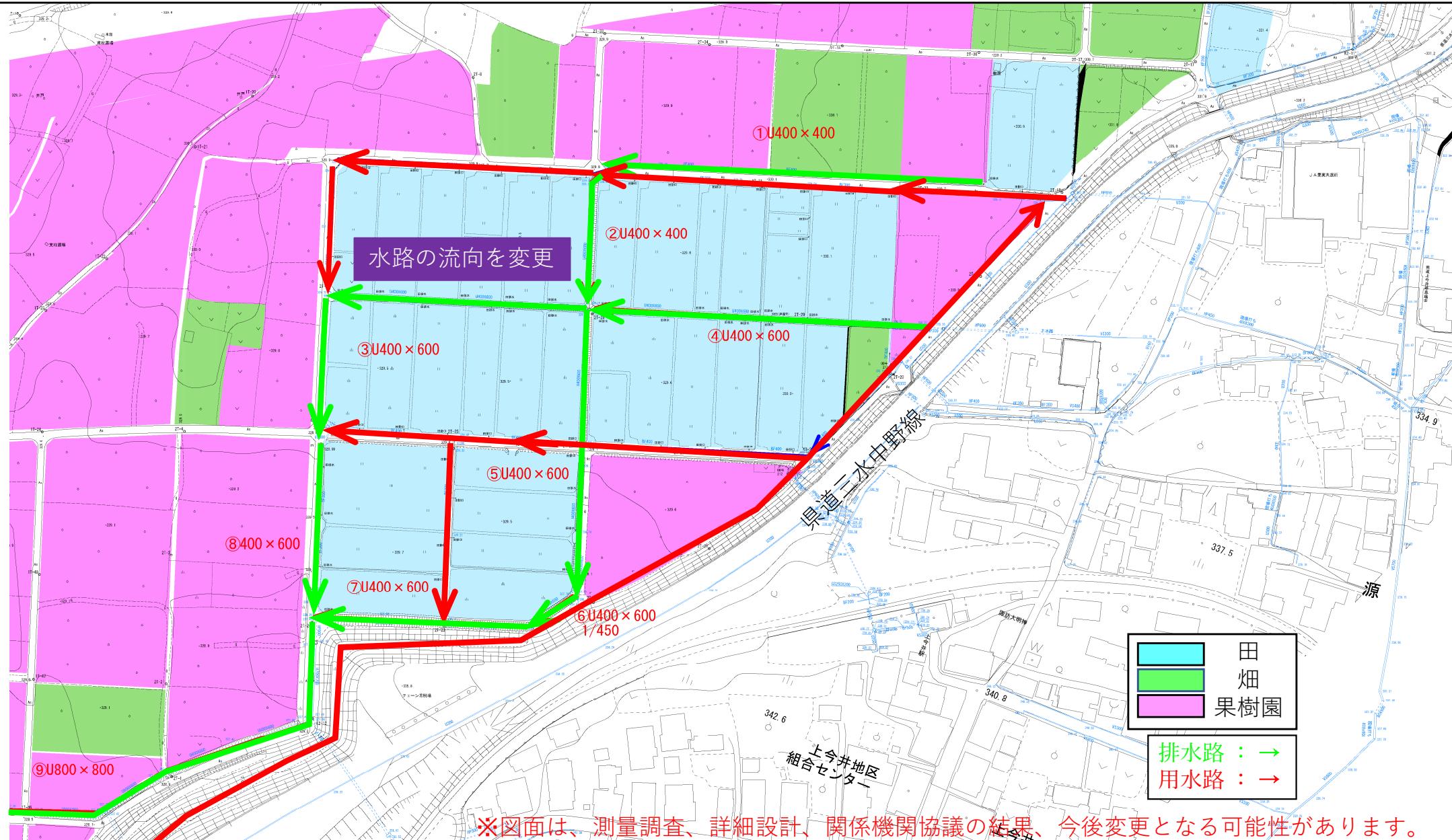


※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

埋立地用排水計画(水田側; 水田内の水路)

令和6年3月地元説明会資料より (一部修正)

- ◆ 用排水路は、田んぼ同様、現在の位置を基本に復旧します。
- ◆ 復旧にあたっては、維持管理の軽減に配慮して復旧を行います。



用水路計画(JR飯山線横断部)

- ◆ JR飯山線の横断部は、既設の上今井跨線橋を利用し、橋面内北側に送水管を設置します。

<横断図>



排水計画

令和6年3月地元説明会資料より（一部修正）

- ◆ 集落内を流れる排水のうち一部は、県道下の暗渠から埋立て地側に排水されていますが、用水と同様に、排水が困難となります。
- ◆ 現状の排水機能を復旧させるため、暗渠管を統合させて流末には樋門を設けるとともに、集落内の水路の一部区間も暗渠統合のため改修します。

【現状】



【復旧後】



※図面は、測量調査、詳細設計、関係機関協議の結果、今後変更となる可能性があります。

【集落内 現況水路、水路改修区間 (R7.5時点の検討案)】

※図中の現況水路は、現地状況の概略調査を踏まえ、位置、流向を記載しております。
※図中の水路改修区間は、概略調査を踏まえた現時点での想定であり、決定したものではありません。
今後水路を管理されている関係各位との調整等を踏まえ、詳細について検討してまいります。

— メモ —